

※受講希望がありましたら、早急に岐阜県卓事務局に連絡してください。

2024年2月吉日

都道府県卓球協会（連盟）御中

公益財団法人 日本卓球協会
指導者養成委員会
委員長 葛西順一

**2024年度 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会
「コーチ3」受講者募集について**

2024年度公認卓球コーチ（満26才以上）養成講習会の開催が決定致し、本年度も受講希望者を募集することになりました。

申し込みに際しては、都道府県卓球協会（連盟）を通して申し込んでください。

昨年度より、体験実習が加わり都道府県国体選手選考会又はブロック予選会の見学・体験を主催する都道府県協会（連盟）で受け入れいただき、レポートを提出していただくことになりましたので、お手数ですがご提出の程よろしくお願い致します。

また、受講条件も昨年から変更となっており、都道府県卓球協会（連盟）の推薦が条件となっておりますので、該当する受講条件をご確認の上、ご推薦をお願い致します。

※コーチ3受講に望ましい人物

競技力向上を目的とした指導（コーチング）を行うための資格です。実業団等でのコーチングスタッフ及び、各都道府県の全国大会レベルのプレーヤー・チームを指導している方。

1. 専門科目講習会

「コーチ3（公認卓球コーチ）」

会場：荒川総合スポーツセンター（前期・後期）

〒116-0003 東京都荒川区南千住6-45-5 電話：03-3802-3901

<https://www.arakawa-sposen.com/>

前期（集合講習）

日程：2024年6月28日（金）～6月30日（日）

後期（集合講習）

日程：2024年11月1日（金）～11月3日（日）

*前・後期の具体的なスケジュールにつきましては、受講が確定されました後にあらためてお知らせいたします。

2. 受講条件

(公財)日本卓球協会登録会員であり、受講年度の4月1日現在満26歳以上で、次の①～④何かの条件を満たす者

① コーチ2を取得済みの者

② 原則として、10年以上の指導経験を有し、全国大会出場選手を育成した指導者

③ 日本代表として、JTТАが派遣した世界選手権レベルの大会に出場経験がある者

④ 日本卓球協会強化本部長が推薦する者
(実技科目の免除条件については別途定める)

3. 新カリキュラムについて

今年度よりカリキュラム変更(※別紙)に伴い、専門科目講習会にて体験実習が必須となります。

① 体験実習(国体選手選考会又はブロック予選会を見学又は、運営補助)を都道府県卓球協会・連盟へ依頼する。 ※参加手続きについては本人が開催事務局に申請する。

② レポート内容について

体験実習レポート修了書(開催県会長印あり)日本卓球協会事務局へPDFにて提出下さい。

テーマ:「運営についての課題とその解決方法(感想含む)」500-600字程度

※極力、当日、主催者に提出

※提出先:日本卓球協会指導者養成委員会事務局メールアドレス

shidousha@jttta.or.jp

指導者養成委員会にて体験実習(10時間分)を評価し、検定試験終了後に合・否を受講者へ報告します。

③ 体験実習レポート(修了書) ※別紙

4. その他

* 共通科目カリキュラムは、日本スポーツ協会ホームページをご参照下さい。

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/58.html#license>

* 資格取得にあたり、免除申請が行えます。詳細は日本スポーツ協会ホームページをご参照下さい。 <http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/225/Default.aspx>

* 共通科目・専門科目の各講習会は1年で全て受講しなくてはならないということではなく、4年間に全て受講+検定試験合格で資格取得ができます。従って1年目に共通科目、2年目以降に専門科目講習会受講(または逆のパターン)といったことも可能です。但し、卓球専門科目は最初に前期を受講して頂く事が条件となります。

* 共通科目の日程・会場については現時点で発表になっておりません。後日、お申込後に日本スポーツ協会より案内があります。

* 受講者をご推薦いただいた後に、日本スポーツ協会との諸々の手続きがありますので、締め切り日は厳守でお願いします。締め切り後の申し込みは一切受付できません。

5. お問い合わせ窓口（極力メールにてお願いいたします）

日本卓球協会指導者養成委員会事務局-江尻、南波

TEL：03-6721-0921（10:00～17:00）

メール：shidousha@jtta.or.jp

6. 申請内容：2024年度スポーツ指導者養成講習会受講申請書（コーチ3）

各都道府県協会（連盟）推薦者より下記インターネットフォームより申請をお願いします。

フォームURL：<https://forms.office.com/r/EQdsUPP0Pb>



締切日：3月5日（日）

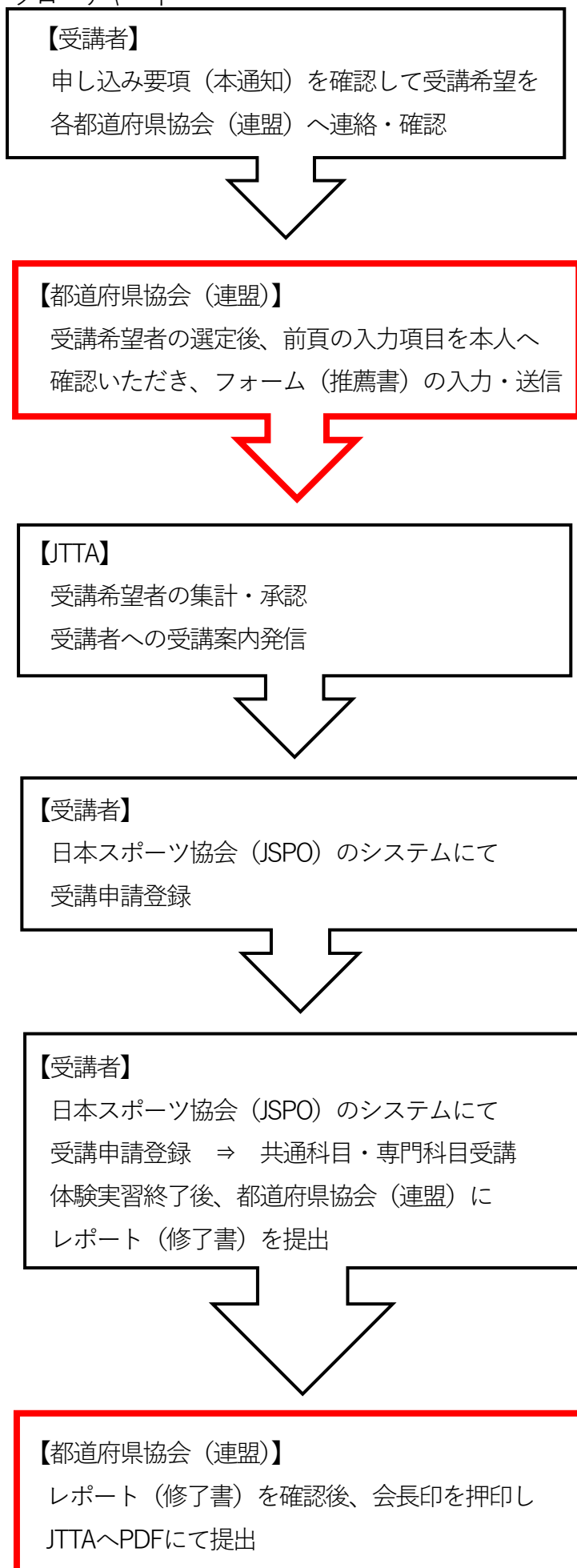
※内容をご確認いただき、各都道府県指導者担当者（理事長承認が必要）が必要事項をご入力ください

※申請される受講者人数分のフォームへの入力が必要です

【受講希望者本人への確認項目（フォームURL内入力項目）】

1. 登録都道府県
2. 氏名
3. ふりがな
4. 性別
5. 生年月日（西暦）
6. JTТА会員ID（9桁）
7. 電話番号（携帯）※間違いのない様に注意願います。
8. メールアドレス ※↑
9. 自宅郵便番号
10. 自宅住所
11. 受講条件
12. 現在指導している競技者の年齢層（複数可）
13. 現在指導している競技者の競技レベル（複数可）
14. 都道府県卓球協会（連盟）の推薦情報をご記入ください。
（推薦理由） ※該当する条件の番号及び内容を詳細に書いてください。
15. 推薦者指名
16. 推薦者メールアドレス
17. 連絡先

7. フローチャート



以上

公認卓球コーチ3
資格概要

2023年12月13日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本卓球協会	
養成目的		競技者育成プログラムに基づき、全国レベルの競技者の育成・指導にあたり、同時に、コーチ2までの養成講習会の講師等を務ることができる指導者を養成する。	
役割		各カテゴリーのトップチームのコーチングスタッフとして、ブロック及び全国大会レベルのプレーヤー・チームに対して競技力向上を目的としたコーチングを行う。	
養成講習会に係る内容	受講条件	(公財)日本卓球協会登録会員であり、受講年度の4月1日現在満26歳以上で、次の①～④何れかの条件を満たす者 ①原則として、コーチ2を取得後、3年以上の指導経験を有する者 ②過去5年以内に日本代表として、JTTAが派遣した世界レベルの大会に出場経験がある者 ③10年以上の指導経験を有し、全国大会出場選手を育成した指導者で都道府県協会(連盟)会長が推薦する者 ④日本卓球協会強化本部が推薦する者 (実技科目の免除条件については別途定める)	
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅲ(150h)
		専門科目	専門科目コーチ3(60h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目Ⅲ:22,000円(税込)／教師:61,600円(税込)※別途リファレンスブック代:3,300円(税込)
		専門科目	受講料:15,400円(税込) ※実施団体が別途定める場合がある。 テキスト代:卓球コーチング教本改訂版 3,080円(税込)
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
		専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ■講習会 集合講習48h、その他12hとし、日本卓球協会が実施する。 ※その他(12h)について ①事前・事後学習については、所定のレポートを提出 ②体験実習については、国民スポーツ関係大会(都道府県内の国体選手選考会を兼ねた大会、ブロック大会、本国体も可)運営又は見学。体験後、所定のレポートを作成。提出方法は要項参照 ■検定試験 技能検定、レポート、筆記試験を加えた総合判定 ■審査 日本卓球協会指導者養成員会において審査する。 ■免除要件 免除規程を別に定める。
	登録に係る内容	登録料 (4年間)	基本登録料:10,000円
			資格別登録料:10,000円
			初期登録手数料(初回登録時のみ):3,300円
更新登録要件	(公財)日本卓球協会登録会員であり、資格有効期限の6か月前までに、最低1回は、日本卓球協会が定める研修又は日本スポーツ協会(都道府県スポーツ協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。		
特記事項			

公認卓球コーチ3

2023年5月23日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 基礎理論	①	卓球界の国際的動向と最新情報	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	②	卓球競技の歴史的発展論	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	③	海外遠征の心得(渡航術・ホテルマネジメント・コロナ対策・海外マナー)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	④	卓球選手のための栄養学	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑤	対象に応じた指導内容と技術指導	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑥	科学的分析のコーチングへの応用	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑦	卓球競技における安全対策	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑧	ルール・審判法	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	⑨	卓球競技におけるメンタルトレーニング	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑩	スポーツビジョントレーニング	0.50 h	0.00 h	0.50 h
	⑪	コーディネーション・トレーニング*	0.50 h	0.00 h	0.50 h
	⑫	指導環境におけるハラスメント対策	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑬	スポーツインテグリティ・コンプライアンスの確保	2.00 h	1.00 h	3.00 h
	⑭	フェアプレイとスポーツマンシップ	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑮	コーチから選手への言葉かけ	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	小 計		21.00 h	2.00 h	23.00 h
② 卓球技術	①	卓球競技のための専門的体力トレーニング	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	②	応用技術1	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	③	応用技術2	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	④	多球練習(上級者)	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑤	練習効果のための評価(上級者のための)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑥	スポーツマッサージ	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	小 計		10.00 h	0.00 h	10.00 h
③ 指導演習	①	個人指導	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	②	集団指導	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	③	対象に応じた指導方法(男女ナショナルチーム報告含む)	2.00 h	1.00 h	3.00 h
	④	指導計画の企画立案(集団・個人・短期・長期)	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	⑤	ベンチコーチの実際	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑥	コーチ1・2養成講習会の企画・立案・留意点	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑦	障がい者への指導	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	小 計		9.00 h	8.00 h	17.00 h
④ 体験実習	①	国民スポーツ大会(ブロック大会・県予選会含む)の実際	0.00 h	10.00 h	10.00 h
		※国民スポーツ大会関係大会(県予選会・ブロック・本大会)に出向いて運営又は見学を行い、レポートを提出			
	小 計		0.00 h	10.00 h	10.00 h
			40.00 h	20.00 h	60.00 h